



「今、何が出来るか」を問われ続ける日々が続いた今夏だった。

かつての余暇やお休みの様子

元々、20名ほどの職員スタッフ（学生の夜間アルバイトも含む）で2棟を365日回す為、潤沢な人手はありません。それでも、土日には数人で乗り合わせてドライブがてらに買い物や毎月のお給料日後にはスタッフとの1対1でのお買い物デートの約束を楽しみにしていました。夏場に体制を整えて数名で交流セントラーペールという企画もありました。夏休みの残寮者で白馬や湯沢の夏旅行も恒例イベントでした。冬休みや春休みには残っているグループで外食も

きな事を、外食に行けなくともティクアウト企画ならと実施してきました。

メニー表を食い入るように端から端まで見て選ぶ仲間、「ハンバーグ」と言つてみたものの何種類もあるハンバーグで更に悩む仲間。色々な反応がありました。最初は1店のみで始め、3店程になっていました。お店を選ぶ楽しさも加わりましたが、どれを選んだらの悩みも倍増しました。

③それでも帰りたい！
④両親が健在ながらも近場でない
為、長期休みなどに帰省している仲間。
ホームの生活で不安になるという事

行つていました。1人で出かけられる仲間は、仕事が終われば自転車で買い物や買い食いして夕飯ぎりぎりに帰ってくる事もありました。家族の命日近くにはお墓参りしたりと個別外出を楽しむ仲間もいました。



オレンヂホーム職員 小野田泰昌

コロナ禍前から、スタッフが納涼夏祭りやクリスマスやハロウィンなどのイベントの飾りつけをリビングや廊下・階段などにしていました。いることで、毎日ホームで過ごす中にも、季節感が持てました。

④イベントがなくとも雰囲気を！

コロナ禍前から、スタッフが納涼夏祭りやクリスマスやハロウィンなどのイベントの飾りつけをリビングや廊下・階段などにしていました。

はないものの、帰っていた所に帰れない不安感を感じていました。いつもなら帰れるかコロナの状況をみながら、家族の状況と合わせながらの帰省計画を相談して送迎も含め実施していました。

①と④しか出来ませんでした。この第5波では、かなりの自粛体制をとつてなお、コロナと背中合わせの薄氷を踏むような状況でした。何度もPCR検査待ちでホーム待機もありました。コロナ禍で出かけられずの長期休みは退屈で、少しでも好

これだけ書いていても、この夏は②外食したいな♪
かつての長期休みには「木ぐらし」にランチに行ったり、少数で外食がありました。コロナ禍で出かけられない長期休みは退屈で、少しでも好

①と④しか出来ませんでした。この第5波では、かなりの自粛体制をとつてなお、コロナと背中合わせの薄氷を踏むような状況でした。何度もPCR検査待ちでホーム待機もありました。コロナが終わったね」「よかつたね」というやり取りが心からできると良いと思います。

オレンヂホーム職員 小野田泰昌

建物の裏庭にある緑地スペースに「ミニはれ農園」を作りました。担当職員が耕運機を使って荒れ地を整備して、盛り土をしてできた畑には、レタス、ほうれん草、カブ、小松菜、大根と野菜の苗を植えています。これから仲間と一緒に水やりをして、みんなで美味しい野菜を収穫するのが今から楽しみです。

最後に

①それでも出掛けたい！

いつまでもかも示せずにずっと出かけられないのはとても厳しい。自分達の好きな事、楽しみにしている時間、そういう事は生活から切り離せない大切なもの。自分達の買い物や散歩の時間など好きな事をできたと実感して貢える様にスタッフと一緒に出かける個別対応を増やして出かけられる機会を実現してきました。頻度や時間も人によつて様々ですが行つてきました。

②外食したいな♪
かつての長期休みには「木ぐらし」にランチに行ったり、少数で外食がありました。コロナ禍で出かけられない長期休みは退屈で、少しでも好

①と④しか出来ませんでした。この第5波では、かなりの自粛体制をとつてなお、コロナと背中合わせの薄氷を踏むような状況でした。何度もPCR検査待ちでホーム待機もありました。コロナが終わったね」「よかつたね」というやり取りが心からできると良いと思います。

オレンヂホーム職員 小野田泰昌

建物の裏庭にある緑地スペースに「ミニはれ農園」を作りました。担当職員が耕運機を使って荒れ地を整備して、盛り土をしてできた畑には、レタス、ほうれん草、カブ、小松菜、大根と野菜の苗を植えています。これから仲間と一緒に水やりをして、みんなで美味しい野菜を収穫するのが今から楽しみです。

とにかく日々。仲間たちにとつても終わりの見えない息苦しさの続く生活を強いられました。

先日、初めてその仲間が「今晚テレビで○○やるんだ」と嬉しそうに教えてくれました。

「仕事はしない」と言つてテレビを見ているだけの仲間がいます。職員はテレビも活動と捉えて一緒に見ます。1人で見ていても他者が隣にいくと2人になって楽しみを共有できます。

白岡デイサービス
「仕事はしない」と言つてテレビを見ているだけの仲間がいます。職員はテレビも活動と捉えて一緒に見ます。1人で見ていても他者が隣にいくと2人になって楽しみを共有できます。

先日、初めてその仲間が「今晚テレビで○○やるんだ」と嬉しそうに教えてくれました。

「仕事はしない」と言つてテレビを見ているだけの仲間がいます。職員はテレビも活動と捉えて一緒に見ます。1人で見ていても他者が隣にいくと2人になって楽しみを共有できます。



「今、何が出来るか」を問われ続ける日々が続いた今夏だった。

かつての余暇やお休みの様子

元々、20名ほどの職員スタッフ（学生の夜間アルバイトも含む）で2棟を365日回す為、潤沢な人手はありません。それでも、土日には数人で乗り合わせてドライブがてらに買い物や毎月のお給料日後にはスタッフとの1対1でのお買い物デートの約束を楽しみにしていました。夏場に体制を整えて数名で交流セントラーペールという企画もありました。夏休みの残寮者で白馬や湯沢の夏旅行も恒例イベントでした。冬休みや春休みには残っているグループで外食も

行つていました。1人で出かけられる仲間は、仕事が終われば自転車で買い物や買い食いして夕飯ぎりぎりに帰てくる事もありました。家族の命日近くにはお墓参りしたりと個別外出を楽しむ仲間もいました。

コロナ禍でのホーム生活

コロナで生活は大きく変わりました。オレンヂホームでも「3密の回避」「不要不急の外出の規制」などコロナ感染症対策もずっと続けています。みんなと一緒に旅行やお祭りなどの外出や企画は軒並みなくなり、一人での外出もできなくなりました。一緒の時間にみんなの顔を見ながら食べてた食事も少数交代だつたり居室での部屋食になっています。日中の仕事とホームの往復ばかりの毎日。特に今年に入つてからは、緊急事態宣言と蔓延防止の期間が途切れることが多いです。

余暇のとりくみ

* オレンヂホーム*

「今、何が出来るか」を問われ続ける日々が続いた今夏だった。

かつての余暇やお休みの様子

元々、20名ほどの職員スタッフ（学生の夜間アルバイトも含む）で2棟を365日回す為、潤沢な人手はありません。それでも、土日には数人で乗り合わせてドライブがてらに買い物や毎月のお給料日後にはスタッフとの1対1でのお買い物デートの約束を楽しみにしていました。夏場に体制を整えて数名で交流セントラーペールという企画もありました。夏休みの残寮者で白馬や湯沢の夏旅行も恒例イベントでした。冬休みや春休みには残っているグループで外食も

行つていました。1人で出かけられる仲間は、仕事が終われば自転車で買い物や買い食いして夕飯ぎりぎりに帰てくる事もありました。家族の命日近くにはお墓参りしたりと個別外出を楽しむ仲間もいました。

コロナ禍でのホーム生活

コロナで生活は大きく変わりました。オレンヂホームでも「3密の回避」「不要不急の外出の規制」などコロナ感染症対策もずっと続けています。みんなと一緒に旅行やお祭りなどの外出や企画は軒並みなくなり、一人での外出もできなくなりました。一緒の時間にみんなの顔を見ながら食べてた食事も少数交代だつたり居室での部屋食になっています。日中の仕事とホームの往復ばかりの毎日。特に今年に入つてからは、緊急事態宣言と蔓延防止の期間が途切れることが多いです。

「今、何が出来るか」を問われ続ける日々が続いた今夏だった。

かつての余暇やお休みの様子

元々、20名ほどの職員スタッフ（学生の夜間アルバイトも含む）で2棟を365日回す為、潤沢な人手はありません。それでも、土日には数人で乗り合わせてドライブがてらに買い物や毎月のお給料日後にはスタッフとの1対1でのお買い物デートの約束を楽しみにしていました。夏場に体制を整えて数名で交流セントラーペールという企画もありました。夏休みの残寮者で白馬や湯沢の夏旅行も恒例イベントでした。冬休みや春休みには残っているグループで外食も

行つていました。1人で出かけられる仲間は、仕事が終われば自転車で買い物や買い食いして夕飯ぎりぎりに帰てくる事もありました。家族の